

科目名	社会保障制度論 (System of Social Security)			科目コード	166
開講学科	看護学科・ 臨床検査学科	選択区分	(看護) 必修 (臨床) 選択	単位数 (時間)	2 単位 (30時間)
科目区分	専門基礎科目	履修時期	2 年次前期	関連DP	看①②③、臨①②
担当教員	松田 美紀*				
授業概要	看護が対象とする傷病者の生活面での幅広いニーズを理解するために、まず社会保障制度の基本的理念と辿ってきた歴史を振り返り、制度の全体像を説明する。さらには急速な少子高齢化・核家族化の進行、長引く経済の低迷などを経てきた現在の主な諸制度（医療保険、介護保険、年金、雇用保険、公的扶助、社会福祉）の概要を説明し それを担う体制の理解に繋げる。授業を通して、臨床現場に必要な社会的視点や他職種（社会福祉等）の連携についても教授していく。				
授業目標	生活する上で誰もが遭遇する可能性のある、様々な生活上の危機や困難に対応する社会保障の理念と概要を学び、一人の傷病者をトータル的な存在として看護実践するための基礎的な社会的視点を養う。				

授業計画

回	項目	内容
1	国民生活を支える社会保障制度	社会保障の理念と制度体系
2	社会保障制度の変遷	戦後～社会保障構造改革
3	医療保険（１）	医療保険制度の概要
4	医療保険（２）	後期高齢者医療制度、公費負担医療制度
5	介護保険（１）	介護保険制度の創設の背景・概要
6	介護保険（２）	介護サービスの実際
7	公的年金（１）	公的年金制度の概要
8	公的年金（２）	保険料と給付の仕組み
9	雇用保険	雇用保険制度の概要
10	公的扶助(生活保護)と社会福祉（１）	社会福祉法、社会福祉事業
11	公的扶助(生活保護)と社会福祉（２）	公的扶助の概要
12	公的扶助(生活保護)と社会福祉（３）	児童福祉の概要
13	公的扶助(生活保護)と社会福祉（４）	障害者福祉の概要
14	公的扶助(生活保護)と社会福祉（５）	高齢者福祉の概要
15	社会保障の給付と財源	社会保障給付費の推移、国際比較等
成績評価方法		定期試験（筆記試験）の結果のみで評価する。
教科書		福田素生・稲沢公一・岡部 卓ほか「系統看護学講座 専門基礎分野 健康支援と社会保障制度③ 社会保障・社会福祉」（医学書院）
参考図書等		
授業時間外の学習について		授業時間外の学習の進め方について、予習・復習が必要な場合は、準備学習の内容や必要時間等を書く。
関連科目		共通の内容を含む科目は、140 医療概論、141 医療と法、167 保健医療福祉行政論 本科目から発展的につながる科目は、143 チーム医療、236 地域看護学実習、239 在宅看護論実習、215 成人看護学慢性期実習、218 老年看護学実習（実習については社会資源活用との関連から）
備考		